

(行方市)なめがた市民 100 人委員会「第1回委員会」議事メモ

分科会	第4分科会
コーディネーター	桑子幹弘(太田市企画政策課主任)
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2020年9月26日(土)15時00分から16時00分
場所	レイクエコー大会議室 B
その他	参加者数 7 名 欠席者数 9 名

趣旨・概要

- ・導入(進め方)
- ・自己紹介
- ・テーマについて思うこと(論点整理)
- ・まとめ(次回に向けて)

総括

分科会 会長総括

- なし。

コーディネーター総括

- 生活している中で感じる「子どもに関する」ことを考えてきてほしい。

協議の流れ

コ) 総合戦略知っているか

委) 二人知っている。(詳しくは読んだことない。)

コ) ホワイトボードに、自己紹介の内容を記載。(現役で子育てしているのは、「桑子氏のみ」) これからの理想はもちろんだが、日常生活で感じている具体的なことを話し合しましょう (「自分ならできること」「地域ならできること」「行政がすること」)

基本プロジェクトをみると、大きく 3 項目(①親、②子、③若い人)の切り口がとていい。行方市のターゲット設定はとていいのでは。必ずしもこのターゲットが担っていただけでなく、誰がするのもポイントになる。今日は、医療・福祉関係者が 3 人いる。医療費はどうか。

委) 検診は無料。

コ) どのような理由で子どもが来る？

委) そもそも子どもがいない。子どもに関わる医療が不足。私は市外では働いているので、行方市の需要はわからない。麻生クリニックなど町医者へ受診する人が多い。

コ) 診療所はどうか。

委) 内科などで対応。小児科自体が少ない。

コ) 太田市は 15 歳まで無料。親としては助かる。ただし、無料だから受診するなどの問題も出ている。

委) 石岡、土浦方面に行く。

コ) 広く鹿行エリアを利用しているのか。

委) なめそうがしっかりとした状況であれば、市民はもっと使うだろう。

委) 今のなめそうでは、医師の流出が問題と聞く。

コ) 病院そのものへの評判は？

委) 立地ではなく、信頼性の問題。

委) : 委員、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

- コ) 学校は市内にいくつか。
 市) 7小・中学校。2 高校(麻生、玉造。一つは工業高校)
 委) 潮来市に行く人は少ない。銚田・石岡。
 コ) 中学校までの教育大事
 委) 親の経済力で、進学に影響。
 コ) 行方市は産業も強い。農業立国(全国 2 位、県内 2 位) 仕事はどうか。
 委) 飲食店 3 店目でアルバイト決定。
 コ) 銚田に出る人が多いか。
 委) 行方市民は全体的に保守的。力がある人があまり外に出ていかない。銚田・行方も似通っている地域。
 委) 全体会の説明で、銚田に移動していると知り驚いた。鹿島ならランドセル配布などの施策があるが、行方市で子育ての優遇性がないと思う。
 コ) 次回は、理想論ではなくて、生活の具体的なところから話し合おう。次回に向けて、生活している中で感じる「子どもに関する」ことを考えてきてほしい。

ホワイトボードの写真

